

今年も皇居で勤労奉仕

4日間、草取りなど清掃

天皇、皇后両陛下がご会釈

日遊協皇居勤労奉仕団36人(団長・山田久雄副会長)が9月24(27日の4日間、皇居及び赤坂御用地で奉仕活動を行った。日遊協の皇居勤労奉仕は2010年から始まり、今年が4年目となる。

今回の奉仕団には山田団長のほか、山口雅弘前九州支部長(副団長)、樋口益次郎九州支部長、岩見吉朗相談役らが参加した。毎日午前8時までに皇居の桔梗門(赤坂御用地では御用地の西門)に集合し、同8時15分に皇居に参入した。

「いかがですか」とお尋ね

一行は日遊協のマークが入ったそろいの帽子をかぶり、約8時間、草取り、落ち葉掃除などの作業をして午後4時に退出した。初日の24日、天皇、皇后両陛下がご会釈にお出ましになった。天皇陛下が山田団長に「どういいう団体ですか」とお尋ねになり、山田団長が「パチンコ関連企業です」と答えた。陛下がさらに「それで、いか

がですか」とご質問され、山田団長は「楽しく遊んでもらっています」と答えた。26日の赤坂御用地での奉仕では、皇太子殿下がご会釈をされた。

今回の団員は次のとおり。

(順不同、敬称略)

山田久雄(株九州エース電研)▽山口雅弘、山口まゆみ(以上、(株)山口商

警察庁生活安全局人事

新生安局長に辻義之氏

警察庁は9月13日付で、岩瀬充明生活安全局長の退職に伴う後任の生安局長に辻義之警大副校長兼警察庁長官官房審議官(刑事局担当)兼生活安全局付を発令した。

辻氏は京都大学法学部卒。1981年警察庁入庁。警察庁刑事企画課刑事指導室長、内閣情報調査



辻生活安全局長

室内閣衛星情報センター管理運営情報管理課長、和歌



皇居桔梗門の前で記念撮影(24日)

事)▽安達眞琴、野崎芽衣、渡部美波(以上、(株)SANKYO)▽岩見吉朗、岩見綾子(以上、(株)玉屋)▽大曾根真

山県警本部長、警察庁生活環境課長(現在の保安課長)、同刑事局刑事企画課長、警視庁警務部長を経て、12年1月に警大副校長兼警察庁長官官房審議官(刑事局担当)兼生安局付。大阪府出身。55

歳。同氏は生活環境課長を07年3月から09年4月まで務めた。また、岩瀬氏は11年8月、警視庁副総監・犯罪抑止対策本部長事務取扱から警察庁生活安全局長に転出し、約2年1か月同局長を務めた。

また、岩瀬氏は11年8月、警視庁副総監・犯罪抑止対策本部長事務取扱から警察庁生活安全局長に転出し、約2年1か月同局長を務めた。

インターネット広告協議会

3千枚台に戻した7月

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成)が9月2日、日遊協本部会議室で開かれ、「パチンコのチラシ Powered by Shufuol」の7月の掲載枚数が報告された。3108枚で3月以来4か月ぶりに3000枚台に戻した。同月の警告は17件と少なく、すべて直して再入稿された。

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成)が9月2日、日遊協本部会議室で開かれ、「パチンコのチラシ Powered by Shufuol」の7月の掲載枚数が報告された。3108枚で3月以来4か月ぶりに3000枚台に戻した。同月の警告は17件と少なく、すべて直して再入稿された。

「組合に加盟すべき」
日電協、2社の流通依頼に

第84回中古機流通協議会(委員
長・阿部恭久全日遊連副理事長)
は9月30日、全商協会議室で開か

れた。(株)ユニバーサルエンターテ
インメント系列の2社(株)アクロ
ス、(株)エレコ)の遊技機を中古機
流通システムに乗せてほしいとの
要請が、全日遊連から出されてい
たが、この日、日電協は、2社が
中古機流通システムでの移動を希

望するのであれば、先ず組合に加
盟すべきであるとの役員会の結論
を発表した。

日電協はその理由として、①日
電協は日工組と同様に行き過ぎた
射幸性の抑制等のための内規を持
ち、組合員は内規を重視した運営

第7回遊技産業マネジメント・カレッジ

18日まで参加者募集中 テーマ「業界の未来を描こう！」

パチンコ・パチスロ産業の新しいリーダー養成のた
めの研修、「第7回遊技産業マネジメント・カレッジ」
が11月21〜22日、1泊2日の合宿形式で開かれます。
10月18日締め切りで、参加者を募集しています。

対象は遊技産業に携わる中堅管理者で、ホールはエ
リア長・店長クラス、遊技機メーカー・販社等は部課
長クラスを想定しています。内容はグループワーク、
次世代経営者たちのパネルディスカッション、業界リ
ーダーたちとの意見交換等で構成されます。グループ
ワークは参加者を6名×10グループに分け、テーマに
沿った討論を2日間実施、グループごとのプレゼンテ
ーションを行い、優秀グループを表彰します。

マネジメント・カレッジは、遊技産業が直面する問
題について参加者が議論し、課題を共有するとともに、
産業発展に貢献してきた先輩たちとの意見交換を通し
て、優れたDNAの継承を目指しています。さらに、
これからの産業を牽引する若いリーダー同士の、同業
種・異業種間での人脈形成に大いに役立つものと期待
されます。

募集要項

【主催】日本遊技関連事業協会・人材育成委員会
【テーマ】「業界の未来を描こう！」

サブテーマ ●ばちんこ産業だから出来る社会への貢献
●力を入れるべき獲得ユーザーとその対策

【日程】平成25年11月21日(木)〜22日(金)

【会場】晴海グランドホテル(東京都中央区晴海)

【募集人員】60人

【参加費用(1人)】①日遊協会員3万円
②会員以外4万円

【申し込み締め切り】10月18日(金)

【申し込み方法】応募用紙(日遊協ホームページか
らダウンロードできます)に必要事項を記入し、
日遊協本部へFAX(03・35553・4334)
でお送りください。

【参加受付】原則として先着順。
日遊協本部で受付後、請求書等を申込担当者宛
に一括送付します。

研修スケジュール

【第1日】

11月21日(木)
13:00 開校式と
オリエンテーション
13:15 グループワーク
18:00 懇親パーティー
・交流会
20:30 グループワーク
(グループごとに終了)

【第2日】

11月22日(金)
7:00 朝食
8:00 グループワーク
11:30 昼食
13:00 プレゼン大会
14:30 パネル
ディスカッション
16:15 プレゼン大会
表彰式・閉校式

登録資格審査委員会

新規3、更新業者47

に努力している ②仮に2社のセ
キュリティー等が現在担保された
としても、組合に入っていない限
り将来の監視・指導が保証されな
い ③非組合員の状態から加盟し、
制度に則って中古機を流通させて
いる事例がある ――などを挙げ
ている。この回答を受けて全日遊
連は、今後2社に組合加盟を促し
ていきたいと述べた。

平成25年度第2回登録資格審査
委員会(委員長・庄司孝輝日遊協
会長)は9月3日、日遊協本部会
議室で開かれ、新規登録申請3業
者(全商協関係2、回胴遊商関係
1)、更新登録申請47業者(全商
協関係28、回胴遊商関係18、日工
組関係1)をいずれも全員適合と
した。

登録資格審査委員会は遊技機販
売業者の業務適正化を促進する目
的につくられ、販売業者の登録、
更新、取り消し、効力停止につい
て審査し、決定する。日遊協、日
工組、日電協、全商協、回胴遊商、
全日遊連からの委員と学識経験者
で構成されている。

RSN第4回総会・理事会

定款の一部改正など承認

西村代表「業界の支援強化に感謝」

ばちんこ依存問題の相談機内であるリカバリーサポート・ネットワーク(RSN・西村直之代表理事)は9月11日、東京・市ヶ谷の遊技会館で第4回通常総会を開いた。第1号議案として定款の一部変更について審議され、改正特定非営利活動促進法の改正による報告書の作成・表現の変更を承認した。第2号議案として平成24年度(平成24年7月1日〜平成25年6月30日)事業報告が承認された。その中で、遊技業界団体の支援等が広がり、会員も400人以上に達し、相談件数が月平均213件と前年より倍増したことなどが報告された。第3号議案として、相談員の増強などを含む平成25年度事業計画が承認された。なお、平成25年度の21世紀会支援は約2800万円となる。引き続き第8回理事会を開き、第1号議案「第6回理事会(役員報酬に関する議案)承認内容の表現変更」、第2号議案「役員報酬規定



事業報告、計画を承認したRSN総会

の作成」、第3号議案「役員の業務の対価」をそれぞれ承認した。議案以外では、理事のRSN会員入会、次年度の役員改選、沖縄県の事業活動の展開などについて協議された。西村代表理事は「遊技業界団体等皆様の支援により相談件数が増加していることは運動が広がりを見せている証拠で、感謝しております。今後さらに相談のあり方など充実させていきたい」と抱負を述べた。

店長・管理職能力開発講習・試験

1月23日、東京で

日遊協は、来年1月に東京で行う店長・管理職能力開発講習・試験の受講・受験希望者を募集している。店長・管理職能力開発講習・試験は、ホールの店長や店長候補者、メーカー、設備機器等の管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行っている。おもな講義は、業界の現状と将来展望、管理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法等で、業界の健全な経営に資する心構え・知識・技能等を身につけ、リーダーとして育ってもらえる内容となっている。

●2014年1月23日(木)

東京Ⅱ日遊協本部会議室

午前10時開始、午後5時半終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。

日遊協ホームページ

<http://www.nichiyukyo.or.jp/>

日遊協事務局

電話 03・3553・4333(代)

FAX 03・3553・4334

不正対策室会議

7団体で原案修正

PSIO要綱の改訂

不正対策室会議(室長・伊東愼吾日遊協常務理事)は9月25日、日遊協本部会議室で委員など10人が出席して開かれ、不正対策情報機構(PSIO)要綱の改訂について協議した。

不正対策室会議は、時代による変化と規定を合致させ機能的に運用するためPSIOの要綱を改定する作業を進めているが、前回の会議で提出された原案について各団体が修正案を持ち寄り、「不正対策情報機構要綱案」を作成した。さらに各団体に持ち帰り、次回最終チェックを行う。

8月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から20件、一般ファンから648件の入力があった。一般ファンの入力は、昨年8月と比べると113件(昨年8月53件)と大幅に増加している。

リサイクル推進委員会

関連規程の改正承認 選定要綱、基準など

第66回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）が9月25日、日工組会議室で開かれた。

遊技機リサイクル業者選定の関連規程の改正案が提案され、承認された。昨秋、選定業者の取消し事案が発生して以降、選定要綱に不備な点が見つかったことから、関連規程の全面的な見直し作業を行なっていた。

見直し対象の関連規程はリサイクル業者選定要綱、リサイクル業者の選定基準、リサイクル業者選定審査手続き申し合わせ、リサイクル推進委員会の設置及び運営要綱などで、基本的には、申請時の必要書類の整備、更新に関する確認書類の整備、重要事項に変更があった場合の届け出の義務付け、選定の際のより細かな基準づくりなどとなっている。

実態調査の結果と意見

平成24年度（24年4月～25年3月）のリサイクル選定業者の実態

調査結果がまとまった。全選定業者（39社）からアンケート回答を得た。リサイクル処理した量を見ると、パチンコでは本体が104万3059台（前年度実績73万2040台）、盤、枠を含めた合計が212万396台（同192万8789台）と、前年度より1割近い増。処理量も3万6430・8トン（同2万8933トン）で26%増だった。パチンコの排出者はメーカー53・22%（同62・8%）、ホール41・36%（同30・6%）、その他、だった。

一方、パチスロは本体51万5852台（同32万3754台）、処理量も1万8035トン（同1万2232トン）でいずれもほぼ5割増だった。

業者の要望、意見では、「機種名を手入力すると誤入力したり、読み取りに時間がかかって作業効率が悪化するので、QRコードに機種名を入れられないか」「遊技機の構造規格の統一化を望む。メーカーによって解体作業内容が異なる、進捗状況にバラツキが生じてコストと作業効率が割高になる」などがあつた。

北海道支部

「すすきの」に246人 「ゴミ拾いボランティア」

第2回「すすきの」ごみ拾いボランティア活動が9月11日、札幌市内の遊技産業4団体（日遊協、北遊商、札遊協、回胴遊商）、すすきの町内会、観光協会、交番勤務の署員ら246人が参加して行われた。日遊協北海道支部からは高木貴範ボランティア隊長以下10人が参加、作業服に身をかためて9時30分に集合し、中島公園、すすきの地区一円の清掃に汗を流した。松谷明良支部長は主催者を代表



開会式であいさつする松谷支部長

近畿支部

31人集まり、活発討議 第1回「拡大役員会・懇親会」

近畿支部は7月23日、大阪市のナンバプラザビルで第1回の近畿支部拡大役員会・懇親会を開いた。この集まりは、会員相互の意見交換により日遊協活動方針や業界の現状を共有し、今後の組織の充実、拡大を図る目的で、福井章支部長以下役員、会員31人が参加した。

本部理事会、委員会、支部活動の詳しい報告のあと、賞品交換、消費税、遊技機等について熱のこもった議論が交わされた。参加者からは「横断的組織を活かして、忌憚のない意見を出し合い、物事を決めていくプロセスがよくわかった」などの感想が聞かれた。会議の後、ほぼ全員が参加して、懇親会が開かれ業種を離れて賑やかに交流した。

支部強化で意見交換

2社入会も退会阻止めへ

中部支部役員会が9月10日、名古屋市のアリス愛知で開かれ、山口悟支部長以下8名が出席し、当面の課題について協議した。山口支部長は「子どもの車内放置防止のための撲滅キャンペーンを8月8日に行い、行政機関のご協力もいただき成功しました。テレビ、新聞、業界誌にも取り上げられ広報活動の一環にもなりました。今後ぜひ継続していきたい」と挨拶した。

会員の状況、会議、各講習、セキユリティー活動などについて報告が行われ、支部の活性化などについて意見を出し合った。

中国・四国支部

200人招待し楽しく

敬老の日のパチンコ大会

後藤信行支部長が経営するホール



参加者に遊び方を丁寧に教えるスタッフ

「銀座1」は9月19日、広島県世羅町の同所で恒例の「敬老の日シニアパチンコ大会」を開いた。今年で21

回目を迎えた催しは、世羅町内の敬老会や養護施設入所者200人を招待した。約2千個の玉で自由に遊技してもらい、ジュースを出したり記念品を贈ったりして、賑やかな1日となった。参加者からは「この歳になってもパチンコが出来た」「毎年楽しみにしている」などの声が寄せられた。

新規入会

9月12日の第3回定例理事会で、正会員2社の入会が承認された。

●新規入会・正会員（敬称略）

▼株式会社エイチ・アンド・エム

代表取締役・保坂雅洋

東京都国分寺市光町1・49・4

景品卸。昭和40年設立。資本金4

500万円。従業員36人。東商流ほかに加盟。（推薦人・サンキョー株

式会社 阿部恭久）

▼有限会社イイダ商事

代表取締役・飯田恭章

埼玉県さいたま市南区

南浦和1・16・8

景品卸。昭和45年設立。資本金3

00万円。従業員16人（パート含む）。東商流ほかに加盟。（推薦

人・ピーアールホールディングス株

式会社 庄司孝輝）

DATA SPOT

●本社移転

▼株式会社中国まさむら遊機

広島市東区光町

2丁目9番30・303号

●代表者変更

▼株式会社近商

代表取締役社長・北岡潤史

9月

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	244	+2
東北	537	+4
東京	583	+5
関東	1620	+23
中部	501	+9
近畿	886	+10
中国	286	0
四国	153	+3
九州	623	+11
全国計	5433	+67

(2013年8月31日現在)

1年間で194店舗失う

全日遊連は9月20日、店舗数、遊技機台数の2013年8月分を発表した。店舗数は前月比で9店減増となり、1万1033の店舗数は、年間ペースだと昨年8月（1万1227店）と比べて、この1年間で194店マイナスなので、低下傾向に変わりはない。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス4万6334台（昨年8月281万7356台）と下がり続け、一方パチスロ機はプラス6万780台（昨年8月141万362台）と上昇して、全体の傾向は固定化している。

<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,171	17	34	118 (11)	2,805,774	1,441,076	156	4,247,006
2月	11,137	7	37	119 (11)	2,798,348	1,441,295	156	4,239,799
3月	11,089	8	52	125 (20)	2,786,704	1,444,068	156	4,230,928
4月	11,093	37	41	113 (12)	2,789,874	1,454,733	156	4,244,763
5月	11,069	13	30	116 (18)	2,780,418	1,459,448	156	4,240,022
6月	11,040	20	43	123 (23)	2,773,587	1,459,781	156	4,233,524
7月	11,042	18	19	115 (10)	2,773,309	1,466,536	156	4,240,001
8月	11,033	17	35	107 (7)	2,771,022	1,471,142	156	4,242,320